再評価結果（平成１９年度事業継続箇所）

担　当　課：北海道開発局 地方整備課
担当課長名：　　髙橋　守人

事業名	主要地方道　旭川多度志線	事業区分	地方道	事業主体	北海道
起終点	自：北海道旭川市嵐山 至：北海道深川市湯内			延長	６．５km

事業概要

主要地方道旭川多度志線は旭川市のJR旭川駅前から深川市の国道２７５号へ至る延長約３６kmの幹線道路であり、旭川都市圏総合都市交通体系調査の中で８放射系路線の一つとして位置付けられ、旭川中心部から留萌市方面への短絡ルートとなる重要な幹線道路である。本事業は、縦断及び平面の線形改良を実施し、冬期交通不能区間を解消することで、留萌方面と道北圏の中心都市である旭川市とのアクセスを向上させ、地域交流の活発化や円滑な救急活動に大きく寄与するものである。

Ｈ９年度事業化	Ｈ　年度都市計画決定	Ｈ９年度用地着手	Ｈ１２年度工事着手

全体事業費	約１２５億円	事業進捗率	８０%	供用済延長	０．９km
計画交通量	３，８００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．２ (残事業) ３．８	２８／１１７億円 事　業　費：22/110億円 維持管理費：6.7/ 6.7億円	１０８／１３９億円 走行時間短縮便益：92/122億円 走行費用減少便益：14/ 15億円 交通事故減少便益：2.0/ 2.2億円	平成１８年

感度分析の結果

交通量変動　：B/C=１．３（交通量　＋10%）　B/C=１．１（交通量　－10%）
事業費変動　：B/C=１．１（事業費　＋10%）　B/C=１．３（事業費　－10%）
事業期間変動：B/C=１．１（事業期間＋20%）　B/C=１．２（事業期間－20%）

事業の効果等

・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設「旭川赤十字病院」へのアクセス向上が見込まれる）
・災害への備え（現道の冬期交通規制区間を解消する）　外４項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

地元の旭川市を中心とする上川地方総合開発期成会及び空知地方総合開発期成会などから毎年整備促進の要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化は特にない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度までに、用地補償100%、改良・舗装工73%、橋梁工事92%、トンネル工事75%進捗し約0.9km供用している。残事業は、改良・舗装工約2.3km、トンネル工事（25%）である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

事業着手後、トンネル掘削土の重金属処分場確保に時間を要したが、平成18年度にはトンネルも貫通し用地補償についても完了しており、今後事業が遅延する要因は無く、平成19年度の完成が見込まれる。

施設の構造や工法の変更等

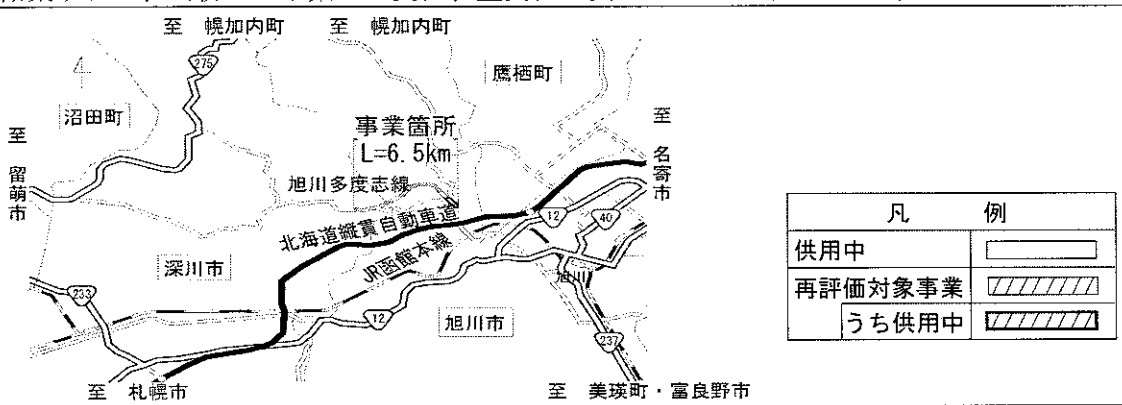
トンネル路肩幅員の縮小や、再生資源（舗装材）の使用、現場発生すきとり土を法面植生工に利用するなどコスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。